

◆学校教育目標：「いのち」を尊び、共に学び、共に輝き、生命力あふれて生きる「あかいつ子」の育成◆

令和2年度 赤井小学校 令和3年2月12日 NO,17

さくら児童会ゆるキャラ



校長室だより 笑顔



◆さくら児童会スローガン決定！：助け合い 夢に向かって あかいつ子◆ さくらだいこくん

「ありがとう」を伝える「赤井いぶき太鼓」修繕記念和太鼓発表会。

1月30日（土）、赤井小学校講堂で修繕した和太鼓のお披露目とご寄付への感謝を伝える和太鼓発表会を開催しました。



開会の挨拶 齋藤学校運営協議会長

初めての豊年太鼓【1年生】

心一つに豊年太鼓【回転あり】(2年生)



真剣！ぶち合わせ太鼓(3年生)

成長！ぶち合わせ太鼓【回転あり】(4年生)

初披露！赤井いぶき太鼓(5年生)



さすが！赤井いぶき太鼓&躍動(6年生)

指導者関先生からの講評

川田太鼓工房様へ感謝状贈呈

平成に保護者の思いが地域に広がり誕生した「赤井いぶき太鼓」は、約30年を経て赤井小の伝統となり子供たちの成長を支えてきました。そして、令和になり、多くの皆様のご支援でリニューアルし新しい息吹が吹き込まれました「赤井いぶき太鼓」。この太鼓がこれから40年、50年と、赤井小の子供たちと、共に歩みながら、豊かな感性と表現力そして躍動する心を育んでくれると思います。

改めて、ご寄付や募金をいただいた保護者、地域、企業の皆様、寒い中、足を運んで寄付活動をしていただいた保護者の皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございます。今後も、伝統ある赤井いぶき太鼓が地域の宝としてますます愛されることと、演奏する赤井小の子どもたちが笑顔で成長することを、保護者そして地域の皆さまと協力して進めていきたいと思ひます。引き続き、ご協力とご支援を賜りますようによろしくお願ひいたします。

いぶき太鼓修繕記念 継承への決意新たに

東松島・赤井小 堂々と演奏披露



集大成となる演奏を力強く披露する6年生

全校児童が和太鼓「赤井いぶき太鼓」に取り組み、東松島市赤井小(児童156人)で30日、1994年の創設初年度から使い続けてきた太鼓の修繕記念を兼ねた「和太鼓発表会」があった。児童たちは堂々とした演奏を披露し、新しくなった太鼓とともに、伝統を引き継ぐ決意を新たに示した。

赤井いぶき太鼓は開校120周年の94年に創設され、今年で28年目を迎えた。昨春、劣化した太鼓の修繕が必要と判断。地区夏祭りでの募金活動をしたり、PTA役員らが家庭訪問をして寄付金を募ったりした結果、保護者や地域住民、市内外の企業・団体から計219万4800円が集まった。

寄せられたお金を基に、川田太鼓工房(福島県南会津町)に太鼓16張りの修繕を依頼。そのうち1張りは工場の厚意で新品になった。同校で太鼓を指導する

関和太鼓センター(角田市)は、3張り分の修繕費の一部を負担した。発表会は学年ごとに登場し、1・2年生が「豊年太鼓」、3・4年生が「ぶち合わせ太鼓」、5・6年生がオリジナルの「赤井いぶき太鼓」を披露。6年生は「躍動」も演奏した。児童たちは懸命に拍子板を振り、太鼓の音を響かせた。新型コロナウイルス対策として、発表する学年以外の児童は各教室でリモートで演奏を聴き、会場への入場は発表する学年とその保護者に限定。発表終了のたびに換気時間も設けた。児童代表の6年今野風紗さん(11)は「(コロナ禍で)今年はまだ披露する機会がなかったが、こうした形で発表会ができ、たくさんの方に聴いてもらえてよかった」とあいさつ。演奏を終えた6年佐藤唯徒君(12)も「最後になるので、楽しく演奏しようと思った。無事にできてほっとした」と話した。

ご協力いただいた地域の皆様や企業の皆様をお呼びできなかったことが残念です。今後ともご厚意に感謝して演奏して参ります。



多くの保護者の方が来校



前日から会場準備

当日は感染予防のために入場制限を行いました。入場された皆さん一人ひとりが健康観察や消毒にご協力いただき感謝いたします。また、会の運営に当たり前日・当日とお手伝いいただいた学校運営委員の皆様や保護者の皆様に感謝申し上げます。

ありがとうございました。